

障害者も高齢者もゆたかに生きられる社会の実現をめざして

# SSTK

# らいぶ No. 167

今年もよろしくお祈いします



東沼神社へ初詣に行きました。今年もいい1年になりますように!!



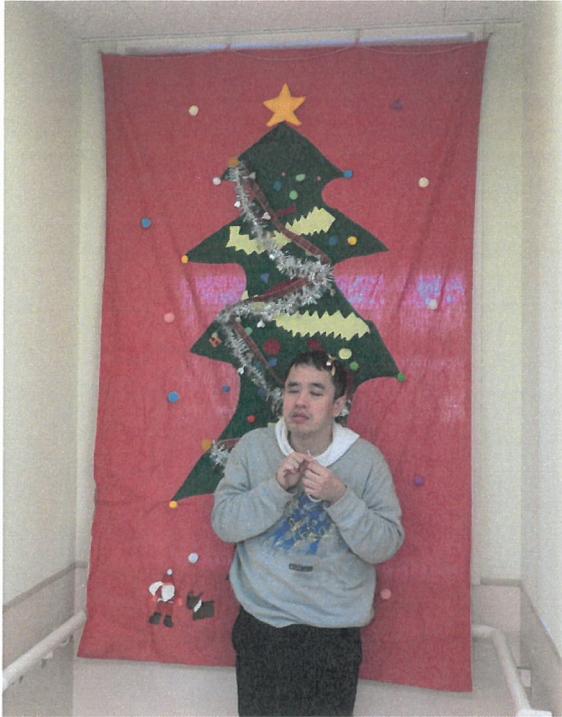
- 1頁 初詣
- 2頁～3頁 らいぶのクリスマス交流会
- 4頁～5頁 新年を迎えて
- 6頁 仲間の今年の目標、他
- 7頁 会員お礼、他
- 8頁 編集後記

編集：社会福祉法人ごきげんらいぶ  
ごきげんらいぶ後援会

〒333-0833 川口市西新井宿 1159 番地の 1  
TEL 048 (290) 3000  
FAX 048 (290) 3005  
URL: <http://www.gokigenraibu.jp>  
E-mail: raibu@bz04.plala.or.jp

発行：埼玉県障害者団体定期刊行物協会

〒333-0851 川口市芝新町 15-9 アステール藤野 1



Merry Christmas

ら  
い  
ぶ  
の  
ク  
リ  
ス  
マ  
ス  
交  
流  
会



☆ 山倉さん! クリスマスに祈りを  
ささげます ☆

みんなの  
作品を  
販売しました ☆



☆ 厨房の職員さん 手作りのクリスマス  
料理がおいしいなあ ♡



☆ 早く『いただきます!』に ほしいなあ ♡

昨年の12月18日、音楽ボランティアの皆さんとらいぶのなかま、家族会の皆さんを交えクリスマス交流会を行い、楽しいひと時を過ごしました。昼食は、調理員2名でおいしい料理をたくさん準備してくださいました。皆さん、ありがとうございました。



かんぱーい



北風小僧の寒太郎  
今年もらいぶに  
やってきました



# 新年を迎えて

2025年は、穏やかに新年を迎えることができませんでした。皆さまもよき新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

昨年は、元旦早々能登半島地震と救援に向かう航空機の事故。また、不幸にして命を失った方やせつかく救われた命が今も関連死と思われる事態が続いています。心からお悔やみ申し上げますとともに、お見舞い申し上げます。

らいぶ家族会では早速、保護者や職員に募金の呼びかけを行い、(一社)社会福祉経営全国会議を通して寄付をさせていただきました。

こうした中、昨年の暮れには日本原水爆被害者団体協議会(被団協)が「ノーベル平和賞」を受賞しました。戦後80年にわたって訴え続けてきた皆さんの運動の成果と思ひ、思わず涙

が零れ落ちていました。しかも、ノーベル平和賞を受賞したことに浮かれることなく、核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求める被団協の皆さんの訴えには心が揺れ動かされました。

私事ですが初めて沖縄に行ったのは大学3年の時でした。ゼミの先輩宅を頼って学割で行ける船旅。当時はまだパスポートが必要でした。また、現地での自動車は右側通行でした。南の激戦地から北の辺戸岬で多くの方が身を投じた話をうかがいました。私たちはいかなる戦争にも反対しなければいけないと思いました。

新年1月6日、らいぶのなかまは、長い年末年始休暇を終え、元気な姿を見せてくれました。早速、例年初詣に行く東沼神社で一年を元気に過ごせますように祈願してまいりました。

井出信男(らいぶ所長)

日頃より、社会福祉法人ごきげんらいぶをご支援していただいている皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

以前の生活を取り戻せたような毎日ですが、新しい行動様式が定着し、授産品の販売イベントなどは少しずつ様子が変わってきています。販売形式や販売するものも少しずつ変えていく必要があるのかもしれないね。

昨年6月に新しく後援会代表を拝命いたしました。前代表の原田さんをはじめ、家族会やらいぶ職員の皆様の温かいご支援をいただき、心強く感じております。至らぬ点多々ございますが、なかまの幸せと生活を守るために、どのようなことができますのかを考えてまいります。

本年も、皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

金村志乃(後援会代表)

新年おめでとうございます。もう1月も中旬に入りました。昨年から代表を引き継ぎました。家族会は、仲間達の生活を支え、親同士の交流を目的とした保護者の会です。

今は、仲間達が楽しく安全に暮らしているグループホーム建設を目指して、手作り品の製作、販売を行っています。親同士の相談や支援の場として、家族会が中心となって様々な悩みなどを一人で抱え込まないよう声掛けを行っています。

また、グループホーム建設に関しても、らいぶの仲間達が元気に働き、安心して暮らせる居場所づくりを目指してはいますが、残念ながら完成には至っておりません。

親も子供たちも徐々に高齢化が進んできていますので、後援会とも協力を得ながら家族会活動を通してらいぶの仲間達を支えていきたいと思ひます。

土谷しづ子(家族会代表)

らいぶに入職して新年を迎えるのは二度目。昨年は、はじめて丸一年をらいぶで過ごしました。振り返るとなかまを理解し、なかまに理解されようと努めることで精いっぱいだったのだと年が明け数日を働く中で感じていきます。今年は考えることに余裕を持ち、行動にかなげていくことを個人的な目標に頑張ります。

#### 長崎 瞭(生活支援員)

今年は、年明け早々に92歳の父が体調を崩し往診、入院(一週間程度)となり、慌しいお正月でした。

こういつた時だからなのか、普段連絡をとらない兄弟とも連絡を取り合う事ができ、改めて家族の大切さを痛感しました。そして今年、そんな家族の大切さを伝えていけるような年にしたいと思います。

#### 春田 聡(業務部長)

私の今年の抱負は元気に出勤をして仕事をすること

です。らいぶに就職をして十年が過ぎ少し疲れも出てきましたが、いつもなかまから笑顔と元気をもらえるので助かっています。らいぶのなかまや相談に関わっている他の利用者さんの不安や困っていることの助けをできるように健康に気をつけて生活をしていきたいです。

#### 坂内七重(相談支援専門員)

令和七年も昨年と変わらず楽しい一年にしていきたくと思います。新しい経験や学びを通じて自分を成長させていきたいと思います。ときには失敗や困難を経験することもあると思います。それらを受け入れることで自分自身を成長させ、一歩前に進むことができると思います。周囲との協力やチームワークを大切にしていきたいと思います。

#### 早船美千子(生活支援員)

私の目標は、なかまの動きや周りをよく見て適切な

対応ができるようにしていきたいと思います。

ビーズも簡単なものから難しいものなど幅広くできるように、いろいろなビーズにも挑戦していきたいです。

なかまとも沢山コミュニケーションをとって休憩中は楽しく過ごし、作業中は集中してできるような支援をしていきたいです。

#### 森木咲江(生活支援員)

これからも、なかまと楽しく関わって行く中で、色々な事(新商品や新しい作業)にも挑戦し、なかまと一緒に頑張っていきたいと思います。また困った時は、お互いに助け合いが増えていける様により一層、関係を深めていけたらと思います。

#### 川口将旦(主任指導員)

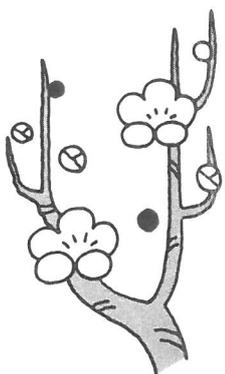
早いもので私がらいぶで働き始めて、6年が過ぎようとしています。らいぶで初めて福祉の仕事に携わり、

最初は不安でいっぱいでしたが、なかまと一緒に仕事をするのが楽しいのが、仕事を続けていける理由です。なかまや自分自身の健康に気を付けて、なかまの支援に取り組んでいきます。

#### 井上英晴(主任支援員)

私事ですが昨年はらいぶに入って十年という節目の年でしたが、その一方で年齢的な体の衰えを感じた年でもありました。今年は、体調などに左右されず常になかまの気持ちに寄り添い、信頼関係を築きながら良い支援を行っていききたいです。それには根底として心身の健康管理をしっかり行い臨んでいきたいと思っています。

#### 平林武幸(支援員)



古紙かほろ  
 ビースかほろ  
 みとかほろ  
 鈴木 子

今年のモクヒョウ  
 仲間たちに、やって見  
 せてその仲間がせいぢょう  
 を、仲間たちに、してまがう。  
 大平

水遊びをしない!!  
 水泳の準備を  
 4日に、しまお。  
 大声を出さない!!  
 戸張 夏実

こしは、  
 休まず来ます  
 富山 和善



授産製品販売

「マイライフ展」  
 12月7日～8日

「セルフバザール in 大宮コンコース」  
 12月3日～5日

「ハートフェスタ」  
 12月14日



川口御成道味噌



